

施策評価シート【分野別施策】

| 施策名 | | | 関係部 | | | | | |
|-------------------------|-----------|----|-------------------|------|------|------|------|--------|
| 1 - | 教育環境を充実する | | 教育総務部、学校教育部、社会教育部 | | | | | |
| 所管事業に関連する成果指標 | | | | | | | | |
| 指標名 | 単位 | 単位 | 実績値 | | | | | 5年度目標値 |
| | | | 改訂計画策定時 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | |
| 学校に行くのは楽しいと回答した児童・生徒の割合 | 小学校 | % | 85.9 | - | 83.7 | 84.1 | 83.1 | 87.2 |
| | 中学校 | % | 79.5 | - | 81.3 | 84.3 | 79.7 | 82.8 |
| 小・中学校のトイレの洋式化率 | | % | 43.8 | 46.7 | 50.4 | 60.3 | 65.8 | 63.3 |

令和2年度は、全国学力・学習状況調査が実施されなかったため、実績値はありません。

関連事業

小学校施設管理事業 小学校大規模改修事業 中学校施設管理事業 中学校大規模改修事業 中学校完全給食準備事業 高等学校等修学支援事業 児童生徒就学援助事業 特別支援教育就学奨励援助事業 サン・サンスタッフ派遣事業 通学路安全対策事業 学校安全対策推進事業 スクールカウンセラー派遣事業 教育相談事業 介助員派遣事業 適応指導教室事業 就学相談・指導事業 スクールソーシャルワーカー派遣事業 通級指導教室運営事業 地域教育力ネットワーク推進事業

決算額

| | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 事業費(千円) | 1,631,685 | 4,403,245 | 2,647,476 | 3,133,408 |
| 執行率(%) | 59.66 | 93.10 | 91.03 | 92.21 |

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが、不登校や問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応、継続的な支援を行うとともに、介助員や医療的ケア学校看護師が障がいのある児童・生徒の学校生活を支援しました。また、サン・サンスタッフを全小・中学校へ派遣するとともに、新たに8人増員し、学習・生活面の支援や読書活動の充実を図りました。さらに、就学援助や就学奨励費、修学支援金を支給しました。
- ・校舎の大規模改修工事、トイレの洋式化など、学校施設の改修・修繕を実施しました。また、中学校完全給食実施に向けて、学校給食センター整備・運営事業者と定期的な打合せやモニタリングを行い、施設整備を進めるとともに、各中学校において、学校給食センターから配送される給食を受け入れ、配膳を行うための施設を整備しました。
- ・地域教育力ネットワークは、パトロールや子どもサポート看板の設置など、地域全体で子どもを見守る活動を実施しました。また、通学路の見守りを実施する団体への助成や通学路上の危険箇

所の合同点検を実施したほか、各校（園）の危機管理マニュアルなどの見直しとともに、キャリアステージに応じた学校安全の研修を実施しました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・児童・生徒の読書への興味・関心をより高め、学習と連携するとともに、経済的に支援が必要な児童・生徒の就学機会を確保する必要があります。また、様々な相談への対応や必要な支援を実施するための体制を強化する必要があります。

学校図書館の環境整備、貸出体制の充実により、児童・生徒の読書への関心、学習に関する図書に関わりを深め、児童・生徒の読書意欲を高める取組を展開するとともに、要保護児童生徒援助費補助金や高校生等奨学給付金の制度改正を注視し、適切な支援を行います。また、教員の働き方改革やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、サン・サンスタッフ等の派遣など、有効な人員配置を行います。

- ・学校施設の老朽化や児童・生徒数の減少を踏まえ、中・長期的な視点から改修を行うとともに、快適な教育環境への改善が必要です。また、新たな学校給食センターの整備にあたり、持続可能で効率的な方策の展開が必要です。

トイレの洋式化や照明のLED化など、学校施設の適切な維持管理を行うとともに、大規模改修工事等を計画的に実施します。また、中学校完全給食の開始に向けて、昼食時間の拡大等による学校生活への影響やアレルギー対応等に、学校現場の理解を得ながら、取り組みます。

- ・地域全体で子どもたちの「生きる力」を育むため、活動を支える地域教育力ネットワーク協議会組織の体制強化が必要です。また、児童・生徒の登下校時の安全確保と学校生活における安心・安全のため、対策を講じる必要があります。

より有効な体験活動が実施できるよう、地域教育力ネットワーク協議会などで情報の共有を図るとともに意見交換を行い、活動内容を充実させます。また、地域や学校との連携により、児童・生徒の見守りを行う団体を支援するとともに、関係機関と通学路の合同点検を実施し、安全に通学できる環境づくりを進めます。さらに、学校安全の研修や学校安全に向けた提言を踏まえた取組により、各校（園）における組織的な学校安全体制の充実を図ります。